

■小松崎茂 空想科学イラスト・戦記物・プラモデルの箱絵(ボックスアート)などの第一人者として活躍した異能の画家。

こまつぎさしげる
21ヶ条要求・1915=

東京府北豊島郡南千住で、茨城県真壁町出身の造花職人小松崎要次郎と後妻でるの子に生まれる。小松崎家は、江戸時代初期に真壁城主家臣であったが、城主が佐竹義宜の秋田転封に従うと、町人になって残り、代々医術を業とした旧家であったが、婿入りで継いだ祖父が派手好きだったため家運が傾き、後を継いだ父は、妻子の不幸が続いて再婚後、代用教員などするが、ついに窮し、家屋敷を売って、東京南千住に移住、葬儀に関わる造花の仕事に出会って才能が開花、職人仲間での人望も高かったという。その父の仕事を見て、器用なものづくりができ、先祖の話聞いて誇りを持つように育ち、とくに、祖父の弟で異能の勤皇の志士桜任蔵から、奔放自在、大胆不敵、奇略湧出、快弁無類といった性格を受け継いだと思われる。

原敬首相暗殺1921= 6歳：
関東大震災・1923= 8歳：
護憲三派圧勝1924= 9歳：
金融恐慌・・・1927=12歳：
共産党事件・1928=13歳：
満州事変・・・1931=16歳：

荒川区立第二瑞光小学校を卒業。卒業写真を見ると、一番小さかったようだ。荒川区御大典美術展覧会で三等賞になったことなどから、**「絵描きを志すようになり、日本画を学んでいた友人の紹介と、父の決断で、花鳥画の堀田秀叢に師事、スケッチブックに、大好きな軍艦や飛行機を描くようになる」と、中傷され反発、日本画壇の異常な世界にも疑問を抱くようになるなか、世の中が一気に戦時モードに入り、すぐにでも稼げるようにと、**

国際連盟脱退1933=18歳：
芥川賞懸賞事件1934=19歳：
芥川直木賞始1935=20歳：
二二六事件・1936=21歳：
日中戦争始・1937=22歳：
健保+総動員 1938=23歳：
第二次大戦始1939=24歳：

日本美術協会展三等賞、伝神洞展に入選するなど、確かな腕はのちに生きてくる。挿絵黄金時代に、秀叢の弟弟子で、岩田専太郎をも超えると言われた**「人気挿絵画家小林秀恒師事に転じ、秀恒作品の背景のために東京のスケッチを始め、描写力に感嘆されるとともに、わずかながら収入に。挿絵画家として独立すべく、新聞文芸社(学芸通信社)に売り込みに行って、恒方の筆名で、{小樽新聞}に連載の悟道軒円玉の講談「白狐綺談」の挿絵でデビュー、岩田専太郎の研究所で学ぶ。続いて、新聞文芸社を通じて、諸紙連載小説の挿絵を描くうち、先輩の紹介で*山海堂の、創刊2年目の、科学雑誌(機械化)に戦争物や空想科学を題材にした絵を描いて評判になり、ついに、自分の求めていた場を発見、今日、この時の作品こそ、日本のSF画の嚆矢とされるのである。**

大政翼賛会・1940=25歳：
日米開戦・・・1941=26歳：
・・・1942=27歳：
創価学会検挙1943=28歳：

この頃、**「陸軍航空本部宣伝部肝いりの{航空絵画研究会}で、山川惣治と出会い、生涯のライバルになる。陸軍美術展や海洋美術展入選するなど、戦局の進展とともに、俄然注目されるようになり、陸軍美術展に出品した「ただ一撃」が、藤田嗣治に激賞されて自信も深め、徴兵され、日本電気兵器に配属、小穴工場宣伝部主任となる。少国民向け雑誌に戦記小説の挿絵や、軍艦、戦車、飛行機などの戦争イラストを数多く発表し、戦意昂揚のポスターを描きつづけるうち、父が死去。海軍造船部軍属中尉相当官。敗戦前後、台東区谷中の「天王ホテル」(アパート)を生活拠点。母も死去。東京大空襲で、生家は全焼し、それまでの資料やスケッチも灰に。敗戦後、駐留軍の似顔描きや、スーパーマーケットの品を描いたりして糊口をしのぐうち、日本を占領した連合国軍に群がる子供達の姿を痛々しく思い、自分の絵で子供達を励ます事は出来ないかと、出直すべく、先輩の田代光に師事、少年誌向けの表紙や挿絵を再開、以後、数多くの雑誌に描き続け、掲載された空想科学イラストは当時の少年達に、未知なるものへの想像力をかき立てて人気を博し、駒込に新居、向いの寺の縁で水上勉と出逢う。{冒険活劇文庫(少年画報)}にSF冒険活劇物語「地球SOS」を連載開始すると、子供向けの絵物語ブームになり、以後3年連載、山川惣治と人気を二分する。**

年金+総武装 1944=29歳：
敗戦・・・1945=30歳：

戸田城聖の日本正学館の{冒険少年}から依頼あるも満杯で断るが、訪れた若い編集長池田大作は、戸田に従って創価学会での活動開始する。弟の妻から、戦犯が拘置されている巣鴨プリズンに勤め、絵の好きな平岡正子を紹介されて一目惚れ、**「おもしろブック」に絵物語「大平原児」連載。千葉栗柏に新居を建て、正子と結婚。編集担当者が社長と対立して退社したことに殉じて「地球SOS」の連載を中止して驚かれるも、娯楽に飢えていた少年少女らはまさに、映画を観るように、幾つもの雑誌に連載される絵物語に魅せられる。挿絵や口絵の仕事や、編集者の柏詣でに寝る間もない多忙な日々を送るうち、全国長者番付画家の部で二位になり、講談社主催で宇宙旅行テーマの座談会も開かれる一方、ラジオ連続放送劇「君の名は」を聴くうち、東京に帰りたい思いがのちのちも、そのまま柏に止まる。**

新憲法施行・1947=32歳：
極東裁判決・1948=33歳：
三大事件・・・1949=34歳：
朝鮮戦争始・1950=35歳：

「おもしろブック」に、青少年期の南千住汐入の、のちの箱絵の背景にもなる入道雲などの風景などを回想した絵物語「どろんこ天使」連載。まんが、劇画に押され、絵物語ブーム急速に凋落していくが、両親の墓参のため、自家用車オースチンに乗って、生まれて初めて、茨城県真壁町を訪れ、感激。東宝映画「地球防衛軍」、今度は、戦争を知らない世代の子供達の間で戦記ブームが起こり、各少年雑誌に、得意分野の緻密なメカイラストを様々な媒体で披露、一段と忙しくなる。東宝映画「宇宙大戦争」のキャラクターやメカニックデザインも手がけ始める。

独立回復・・・1951=36歳：
メデー事件・1952=37歳：

社運をかけて、戦車プラモデル「パンサータンク」を製作した{タミヤ}から、その箱絵が依頼され、{タミヤ}の経営状況を知ると、多忙であるにもかかわらず快諾、その画力でヒット商品にして、経営が軌道に乗るようになり、以後10年、プラモデルのブランドのイメージ作り、人材養成にも貢献していき、

55年体制始・1955=40歳：
国連加盟・・・1956=41歳：
なべ底不況・1957=42歳：

東宝映画「海底軍艦」の轟天号、「マタンゴ」のマタンゴ、東宝映画「宇宙大怪獣ドゴラ」のドゴラのデザインも担当。**「テレビ放映で話題だった「サンダーバード」をプラモデルにした{今井科学}からの依頼で描いた箱絵は、空前の大ヒットで、他のメーカーからも作画依頼が殺到、作品は各メーカーの要望上回る魅力と迫力で、まさにプラモデルブームを実現させ、名声は不動のものとなったが、プラモデルが輸出されるようになると、箱絵の背景に描かれた「箱に入っていない物」は誤解を招くこと問題視されるようになり、商品イメージを膨らませるダイナミックでドラマチックな背景・構図から、精密な資料性の高い箱絵への転換が始まって、**

美智子妃・・・1959=44歳：
安保闘争・・・1960=45歳：
タイタイ病始・1961=46歳：

以後、それまでの連載が単行本になって発刊されて行く。{タミヤ}での箱絵は終わり、以後、国内市場が主力の模型メーカー「日東科学」などの戦車模型や、キャラクター・トイ向けの{バンダイ}からの仕事が増え、得意とする動きのある構図・背景を生かした箱絵を手がけるようになる。

石油ショック1973=58歳：
ケアンズ事件1975=60歳：
JALハイジャック・1977=62歳：

「テレビ放映で話題だった「サンダーバード」をプラモデルにした{今井科学}からの依頼で描いた箱絵は、空前の大ヒットで、他のメーカーからも作画依頼が殺到、作品は各メーカーの要望上回る魅力と迫力で、まさにプラモデルブームを実現させ、名声は不動のものとなったが、プラモデルが輸出されるようになると、箱絵の背景に描かれた「箱に入っていない物」は誤解を招くこと問題視されるようになり、商品イメージを膨らませるダイナミックでドラマチックな背景・構図から、精密な資料性の高い箱絵への転換が始まって、

全共闘ブーム・1969=54歳：
ドルショック・・・1971=56歳：

以後、それまでの連載が単行本になって発刊されて行く。{タミヤ}での箱絵は終わり、以後、国内市場が主力の模型メーカー「日東科学」などの戦車模型や、キャラクター・トイ向けの{バンダイ}からの仕事が増え、得意とする動きのある構図・背景を生かした箱絵を手がけるようになる。

成田衝突・・・1978=63歳：
中曽根内閣・1982=67歳：
竹下登内閣・1987=72歳：
リクルート事件・1988=73歳：
ドイツ統一・・・1990=75歳：

集英社より「メカニック・ファンタジー」発刊。この間、銀座の(川上画廊)で毎年開かれる「激動期育ちの会」展覧会の常連、スター格になり、委員になっていた都美術館(東京展)に、勧められて、百号油絵「戦艦大和の最期」を出品して話題、以後、松本徽章工業のイラストを中心に活躍。国書刊行会より発刊した**「画集「小松崎茂の世界・ロマンとの遭遇」には、石ノ森章太郎、ちばてつや、川崎のぼる、松本零士といった名だたる漫画家達が賛辞の声を載せており、藤子不二雄Aに至っては、ペンネームを「小松原滋」にしてサインも真似した程であったといい、のちの漫画界に与えた影響は非常に大きかったのである。**

バブル崩壊・1992=77歳：
55年体制終・1993=78歳：
オムカリン事件・1995=80歳：

生涯のライバル山川惣治が死去。都美術館(東京展)に「戦艦武蔵」を出品して、古くからのファンを魅了。**「愛犬用の暖房からの出火が原因で自宅兼作業場が全焼、膨大な作品と資料を焼失したものの、絵はまた描けばよい」と、この年から2年、のちに名盤として語り継がれることになるMIX-UPのCDジャケット、創刊された中古ゲーム雑誌「ユーズド・ゲームズ」の4号から15号までと一部の総集編の表紙など、晩年になっても筆を置くこともなく、ジャンルに囚われず次々と新趣向の作品を輩出し続け、心不全で没した。この年発売開始されたPlayStation 2のメタルギアソリッド限定版付属冊子内イラストが最後の作品となり、まさに生涯現役であった。**

小泉内閣・・・2001=86歳：